

様式2（第3の6関係）

会議の概要

1 会議名 (審議会等名)	平成30年度(2018年度)第3回宝塚市きずなづくり推進事業審査会
2 開催日時	平成30年(2018年)9月10日(月)18時30分～19時45分
3 開催場所	市役所3階 3-3会議室
4 出席委員	委員5名：和田会長、川端委員、小西委員、佐藤委員、岩崎委員
5 公開不可・一部不可の場合の理由	宝塚市情報公開条例第7条第1項第5号に該当する内容が審議されるため公開不可
6 傍聴者数	—
7 公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可
8 議題及び結果の概要	<p>(1)開会 第3回宝塚市きずなづくり推進事業審査会の開催。 事務局から、委員総数が5名、出席委員数が5名であり、宝塚市きずなづくり推進事業審査会規則第5条2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立することを報告した。</p> <p>(2)応募状況の報告 ア 事務局より、8月に実施した地域密着型事業の再募集に1件の応募があったことを報告した。</p> <p>(3)申請に係る団体の資格要件及び補助対象事業の要件に関する審査 ア 事務局より、今年度の応募団体が要件を満たしていることを報告した。</p> <p>(4)地域密着型事業の審査基準について ア 事務局より、審査基準について説明を行った。</p> <p>(5)地域密着型事業の審査 ア 申請のあった団体の事業について事務局から説明を行った後、下記のとおり意見等があった。</p> <p><b>【災害に強い地域づくり】</b></p> <p>(ア) 防災意識を高めていくための面白い取り組みであり、有効な手立てだと思うが、時間の制約上、充実した内容の実施は難しいのではないかと。クロスロードの実施にあたって、ファシリテーターは誰が担うのか。</p> <p>(イ) 日常的につながりを作ることで、支えていけるようにすることはとても重要であり、事業としてはいいと思う。ただもっとお金をかけてしっかりと行っていいのではないかと。</p> <p>(ウ) 自治会単位でこのような取り組みを行ってもらうのは重要である。事業を周りに波及していくことにつ</p>

	<p>いては、行政も一緒になって行ってもらえればと思う。</p> <p>(エ) 事業実施場所の近くにコミュニティセンターがあるため、上手く連携してもらえれば大規模な事業を行えると思う。</p> <p>イ 以上の意見等を踏まえ、採点を行い、目安である最低必要点数を上回っているので、採択とする。補助金額については、申請額と同額とする。</p> <p>ウ 事務局より、答申の最終確認については、会長に一任いただくことを確認した。あわせて、同審査会の議事録についても同様に確認していただくこととした。</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 事務局より、平成 30 年度県政 150 周年記念県民連携事業との比較検証の結果を説明した。</p> <p>(4) 閉会</p>
--	--